

公安委員会定例会議開催状況

- 1 開催日時 令和8年4月15日（水）午前9時41分から午前11時22分まで
- 2 開催場所 公安委員会室
- 3 出席者
 - (1) 公安委員会
久保田委員長 入内島委員 有田委員
 - (2) 警察本部
本部長 警務部長 生活安全部長 地域部長 刑事部長 交通部長 情報通信部長
首席監察官 サイバーセンター長 警察学校長 危機管理対策統括官
犯罪被害者支援室長 訟務室長 運転管理課聴聞官 公安委員会室長
- 4 議事の概要
 - (1) 報告事項
 - ア 私服勤務時の軽装（スマートカジュアル）の実施について
警察本部から、上記の件について報告があった。
委員から「今の時代の感覚から判断して合致するような服装であり、服装の選択の自由が広がる施策であると評価する。」と意見があった。
 - イ 令和8年銃砲一斉検査の実施について
警察本部から、上記の件について報告があった。
委員から「使用実績のない銃砲についてはどのように対処するのか。」と質問があり、警察本部から「長野県の殺人事件を踏まえた法改正で、1年間使用実績がない場合は行政指導、2年間実績がない場合は所持許可を取消することとなる。」と回答があった。
 - ウ 日本マクドナルド株式会社と連携した防犯イベント等の実施について
警察本部から、上記の件について報告があった。
委員から「他の企業とも、こういった連携を広げていくよう期待する。」と意見があった。
 - エ 交通人身事故発生状況について（令和8年3月末）【暫定値】
警察本部から、上記の件について報告があった。
委員から「長期的に見ると、交通事故死者の推移はどういう傾向であるのか。」と質問があり、警察本部から「第一次交通戦争と言われた1970年代は特に年間死者が多く、群馬県内では1972年には351人であったが、令和2年には年間45人まで減少し、その後は横ばい傾向である。減少の主な要因は、交通環境の整備や自動車性能の向上、関係機関の努力の成果等である。交通事故の多くはミスに起因するので、ミスをなくし、ミスをしても大きな事故とならないよう

にしていくことが大きな課題である。」と回答があった。

(2) 決裁事項

ア 犯罪被害者等給付金の支給等による犯罪被害者等の支援に関する法律等に係る
公安委員会事務の専決状況について（令和8年第1四半期）

警察本部から、上記の件について説明があり、決裁した。

イ 公益社団法人被害者支援センターすてっぷぐんま職員の変更について

警察本部から、上記の件について説明があり、決裁した。

ウ 運転免許取消処分に対する審査請求の受付について

警察本部から、上記の件について説明があり、決裁した。

エ 保有個人情報開示、部分開示及び不開示決定に対する審査請求15件の受付に
ついて

警察本部から、上記の件について説明があり、決裁した。

オ 保有個人情報不利用停止及び不訂正決定に対する審査請求10件の受付につ
いて

警察本部から、上記の件について説明があり、決裁した。

カ 行政処分の意見聴取結果について

警察本部から、当日実施した運転免許行政処分対象事案15件の意見聴取結果
及び、3件の聴聞結果について説明があり、決裁した